

「早くて美しい」 意匠性の高い建築金物づくり

納期相談
企画力自信有
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



大型曲げ加工機で窓サッシ、ひさし、扉などを加工

業務内容 意匠性高い 建築金物を加工

昭和41年創業した同社は、住宅の窓サッシやひさし、扉などの意匠性の高い建築金物の加工・製造を手がける。「早くて美しいものづくり」をモットーに、シャーリング機やベンダー、溶接機などを駆使して切断・穴あけ・曲げ・溶接・錆止めまで社内で一貫加工を実現。短納期かつ高品質な製品を提供している。

平成28年には大手住宅設備メーカーと共同で、住宅の建築現場で安全に荷揚げができるアシストリフター「STY優架」を初の自社製品として開発。新たな一歩を踏み出した。

強み 当日対応も可能にする 短納期対応

意匠性の高い窓サッシやひさしなどは、施主の意向で最後までデザインが決まらず、竣工間際の短納期受注となることが多い。これに対応するため、同社では独自の作図システムとCADを併用し、社内で作図できる体制により納期の短縮を実現している。また、同業他社は通常、加工後に表面処理を施すが、同社は長年積み重ねてきた生産改善とノウハウにより、塗装済みの部材であってもキズ・打痕なく加工できることも強みとする。オプションとして午前中の注文を夕方6時までに納品する「特急ライン」も平成21年から対応。平光章社長は「加工品の80%が受注後3日以内の出荷となっており、製造・販売ともに要望に応えられる体制を整えられた」と胸を張る。

組織改革 管理職の権限高め、 組織として機能させる

平成26年に就任した平社長は、トップ

ダウン型からボトムアップ型へと組織風土を変革すべく、就任直後から管理職の権限を高め、社員が積極的に考え、行動する組織マネジメントに取り組んだ。

具体的には、社員採用の最終判断を管理職としたほか、管理職に部下との親睦を深めるための費用を支給した。これらの取り組みは道半ばだが、組織の風通しが良くなり、取引先から「以前より会社全体の雰囲気明るくなった」と肯定的な意見が寄せられているという。

今後の展望 受注増対応と製品開発

今後の課題は受注増対応と自社製品の開発だ。平社長によると建設業界は建物の耐久年数により25年周期で建て替えやリノベーションの需要が増え、今がその時期という。実際、取引先からの受注も増えていくが、急激な設備や人員の増強は難しく、これからは、さらなる工夫で需要増にこたえていく計画だ。

自社製品では建設作業者の高齢化に対応すべく発売した荷揚げアシストリフターの売れ行きが好調で、今後も新たな製品開発に取り組む。平社長は「お客様の要望にお応えし、時代に合った製品を提供していきたい」と意気込む。



短納期を支える豊富な材料



本社外観

当社の歴史



創業以来、長尺機械板金による建築金物（ステンレス製の手すり、ひさし、フロントなど）を手がけてきました。今後も、製品の品質管理・検査体制の強化・納期厳守・スピード化を方針として、取引先の要望、時代に合った製品の提供に努力して参ります。

たいら
代表取締役 **平 光章さん**

<http://www.taira-k.co.jp/>

主な事業内容

金属製ドア、アルミサッシ付
属製品、外壁パネル加工・製造

主な取引先(納入先)

YKK AP (株)、
昭和フロント (株)、
(株) LIXIL

●住所

〒581-0068
八尾市跡部
北の町1-2-20

●TEL

072-924-3941

●FAX

072-924-3950

●創業

昭和41年5月

●設立

昭和51年7月

●資本金

4,000万円

●従業員

46名